



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡村製作所
コード番号 7994 URL http://www.okamura.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 雅行
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔 (TEL) 045-319-3445
四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 54,885 | △1.6 | 2,058 | △27.6 | 2,606 | △19.9 | 1,793 | △23.2 |
| 29年3月期第1四半期 | 55,751 | 0.6 | 2,841 | 18.2 | 3,253 | 11.8 | 2,334 | 26.9 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,485百万円(661.0%) 29年3月期第1四半期 457百万円(△85.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 16.28 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 21.19 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 215,292 | 116,225 | 53.8 |
| 29年3月期 | 218,741 | 114,249 | 52.0 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 115,856百万円 29年3月期 113,689百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 12.00 | — | 12.00 | 24.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 12.00 | — | 12.00 | 24.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 113,000 | 1.2 | 4,500 | △11.9 | 4,800 | △12.7 | 3,200 | △16.2 | 29.05 |
| 通期 | 243,000 | 2.6 | 12,500 | 5.8 | 13,200 | 3.4 | 8,900 | 7.3 | 80.79 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期1Q | 112,391,530株 | 29年3月期 | 112,391,530株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 2,234,633株 | 29年3月期 | 2,233,725株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期1Q | 110,157,344株 | 29年3月期1Q | 110,163,862株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (セグメント情報等) | P. 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、米国の政策動向、中国及び新興国経済の先行き懸念など、依然として不透明感が残るものの、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 売上高(百万円) | | | セグメント利益又は損失(△)(百万円) | | |
|----------|------------------|------------------|------|---------------------|------------------|------|
| | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 |
| オフィス環境事業 | 28,355 | 27,756 | △599 | 1,789 | 1,158 | △630 |
| 商環境事業 | 23,476 | 23,747 | 271 | 1,025 | 920 | △104 |
| その他 | 3,919 | 3,381 | △538 | 27 | △20 | △47 |
| 合計 | 55,751 | 54,885 | △866 | 2,841 | 2,058 | △783 |

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、オフィス需要は底堅いものの、大規模オフィスビルの供給は短期的な端境期にあり、大型移転案件の減少が見られました。このような状況のもと、オフィスでの働き方変革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案してまいりました。また、業績が好調な企業や学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努めましたが、資材価格の上昇もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、27,756百万円(前年同四半期比2.1%減)、セグメント利益は、1,158百万円(前年同四半期比35.2%減)となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティー製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に注力してまいりましたが、資材価格上昇の影響を吸収するには至らず、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は増加したものの、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、23,747百万円(前年同四半期比1.2%増)、セグメント利益は、920百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

その他(物流機器事業他)

物流機器事業につきましては、食品、医薬、通販などの有力分野や自動倉庫の拡販に注力するとともに、他事業とのコラボレーションを強化し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めましたが、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、3,381百万円(前年同四半期比13.7%減)、セグメント損失は、20百万円(前年同四半期は27百万円のセグメント利益)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高54,885百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益2,058百万円(前年同四半期比27.6%減)、経常利益2,606百万円(前年同四半期比19.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,793百万円(前年同四半期比23.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末から3,449百万円減少し、215,292百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として6,812百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として3,363百万円増加いたしました。

負債については、短期借入金の増加、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から5,425百万円減少し、99,066百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から1,976百万円増加し、116,225百万円となり、自己資本比率は1.8ポイント上昇して53.8%となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,604百万円、減価償却費1,344百万円及び売上債権の減少額13,997百万円等による増加と、賞与引当金の減少額2,894百万円、仕入債務の減少額5,320百万円及び法人税等の支払額2,944百万円等による減少の結果、6,842百万円の資金増加（前年同四半期は5,744百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得978百万円及び投資有価証券の取得1,023百万円等による減少の結果、2,499百万円の支出（前年同四半期は1,359百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額4,202百万円等による増加と、配当金の支払額1,152百万円等の支出により、2,549百万円の資金増加（前年同四半期は3,664百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から6,901百万円増加（前年同四半期は7,924百万円の増加）し、32,363百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 26,536 | 33,645 |
| 受取手形及び売掛金 | 64,565 | 50,567 |
| 有価証券 | 10 | 10 |
| 商品及び製品 | 10,113 | 10,305 |
| 仕掛品 | 1,467 | 1,856 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,384 | 4,402 |
| その他 | 4,383 | 3,838 |
| 貸倒引当金 | △137 | △116 |
| 流動資産合計 | 111,322 | 104,509 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 15,268 | 15,103 |
| 土地 | 28,072 | 28,072 |
| その他(純額) | 12,931 | 12,700 |
| 有形固定資産合計 | 56,273 | 55,876 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 18 | 14 |
| その他 | 4,505 | 4,372 |
| 無形固定資産合計 | 4,523 | 4,386 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 32,632 | 36,341 |
| その他 | 14,023 | 14,211 |
| 貸倒引当金 | △33 | △32 |
| 投資その他の資産合計 | 46,622 | 50,519 |
| 固定資産合計 | 107,419 | 110,782 |
| 資産合計 | 218,741 | 215,292 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 30,007 | 24,080 |
| 電子記録債務 | 16,398 | 16,636 |
| 短期借入金 | 6,147 | 10,339 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,115 | 1,099 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,000 | - |
| 未払法人税等 | 2,988 | 39 |
| 賞与引当金 | 3,685 | 790 |
| その他 | 5,018 | 6,238 |
| 流動負債合計 | 70,362 | 59,225 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 6,227 | 6,066 |
| 退職給付に係る負債 | 15,674 | 15,953 |
| その他 | 7,227 | 7,821 |
| 固定負債合計 | 34,129 | 39,841 |
| 負債合計 | 104,491 | 99,066 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,670 | 18,670 |
| 資本剰余金 | 16,762 | 16,762 |
| 利益剰余金 | 70,819 | 71,288 |
| 自己株式 | △2,422 | △2,423 |
| 株主資本合計 | 103,829 | 104,297 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,256 | 11,971 |
| 為替換算調整勘定 | 56 | 57 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △452 | △470 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9,860 | 11,558 |
| 非支配株主持分 | 559 | 369 |
| 純資産合計 | 114,249 | 116,225 |
| 負債純資産合計 | 218,741 | 215,292 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 55,751 | 54,885 |
| 売上原価 | 37,998 | 37,676 |
| 売上総利益 | 17,753 | 17,209 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 2,528 | 2,392 |
| 給料及び手当 | 5,045 | 5,186 |
| 賞与引当金繰入額 | 456 | 453 |
| 賃借料 | 1,840 | 2,058 |
| その他 | 5,040 | 5,058 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 14,911 | 15,150 |
| 営業利益 | 2,841 | 2,058 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 3 |
| 受取配当金 | 258 | 310 |
| 持分法による投資利益 | 365 | 214 |
| その他 | 144 | 210 |
| 営業外収益合計 | 773 | 738 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 63 | 50 |
| 社債発行費 | - | 39 |
| 為替差損 | 223 | 57 |
| その他 | 75 | 44 |
| 営業外費用合計 | 362 | 191 |
| 経常利益 | 3,253 | 2,606 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 9 | - |
| ゴルフ会員権評価損 | - | 1 |
| 特別損失合計 | 9 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,244 | 2,604 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 134 | 59 |
| 法人税等調整額 | 750 | 748 |
| 法人税等合計 | 885 | 808 |
| 四半期純利益 | 2,358 | 1,796 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 24 | 2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,334 | 1,793 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,358 | 1,796 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,695 | 1,726 |
| 為替換算調整勘定 | △145 | △14 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △17 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △58 | △5 |
| その他の包括利益合計 | △1,900 | 1,689 |
| 四半期包括利益 | 457 | 3,485 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 443 | 3,491 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 14 | △5 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,244 | 2,604 |
| 減価償却費 | 1,242 | 1,344 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △365 | △214 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 6 | △21 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △2,954 | △2,894 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 204 | 165 |
| 受取利息及び受取配当金 | △263 | △314 |
| 支払利息 | 63 | 50 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 9 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 12,455 | 13,997 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,015 | △600 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4,231 | △5,320 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △194 | 257 |
| その他 | 820 | 472 |
| 小計 | 9,021 | 9,528 |
| 利息及び配当金の受取額 | 269 | 318 |
| 利息の支払額 | △78 | △60 |
| 法人税等の支払額 | △3,467 | △2,944 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,744 | 6,842 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △452 | △510 |
| 定期預金の払戻による収入 | 548 | 303 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △732 | △978 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △74 | △227 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △636 | △1,023 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 190 | 0 |
| その他 | △201 | △63 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,359 | △2,499 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 5,274 | 4,202 |
| 長期借入金の返済による支出 | △171 | △176 |
| 社債の発行による収入 | - | 5,000 |
| 社債の償還による支出 | - | △5,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,345 | △1,152 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | - | △184 |
| その他 | △93 | △139 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,664 | 2,549 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △124 | 10 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 7,924 | 6,901 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 27,547 | 25,461 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 35,472 | 32,363 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|--------------|-----------|--------|-------------|--------|-----|-------------------------------|
| | オフィス 環境事業 | 商環境 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,355 | 23,476 | 51,832 | 3,919 | 55,751 | — | 55,751 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 28,355 | 23,476 | 51,832 | 3,919 | 55,751 | — | 55,751 |
| セグメント利益 | 1,789 | 1,025 | 2,814 | 27 | 2,841 | — | 2,841 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|--------------|-----------|--------|-------------|--------|-----|-------------------------------|
| | オフィス 環境事業 | 商環境 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,756 | 23,747 | 51,504 | 3,381 | 54,885 | — | 54,885 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 27,756 | 23,747 | 51,504 | 3,381 | 54,885 | — | 54,885 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 1,158 | 920 | 2,078 | △20 | 2,058 | — | 2,058 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。